

今年
は
開
年
な
の
で



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.405

2024(令和6)年3月5日(火)発行

アメリカ大統領選挙

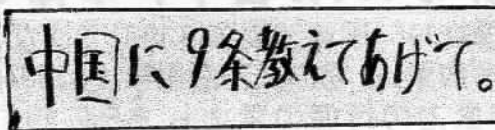
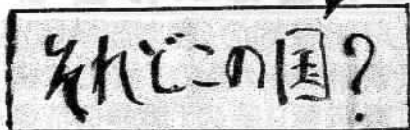
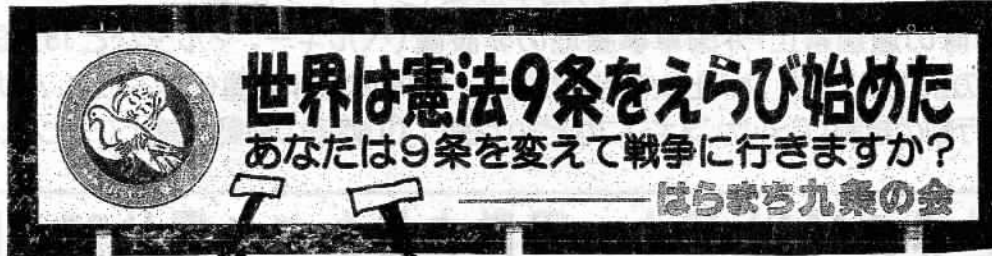


■ **はらまち九条の会** は、戦争放棄の憲法9条を守り、永久に「戦争をしない国・日本」であることを願って活動する自由な市民の会です。支持政党や宗教を問わず、何の拘束もありません■結成2005年12月。会員363名■会費は年千円。

◀本会のシンボルのワッペン「鳩を抱く少女」：デザイン 故・朝倉悠三さん

本会の「9条看板」に質問の書き込みがありました

原町区錦町の本会の「9条看板」に今年1月、<写真>のような二つの書き込みがありました。透明テープに黒マーカーで書き、看板に貼ったようです。事務局では、9条に関する前向きな書き込みととらえ、質問について次のように考えています。



書き込みの<写真左>「それどこ国？」と、<写真右>「中国に9条教えてあげて」

9条の「戦争放棄」は人類の未来の有り様です

憲法9条の「戦争放棄」は1945（昭和20）年の敗戦後に日本で突然生まれたものではなく、言うまでもなく数千年の人類の歴史のなかで積み上げられた叡智です。ですから「平和・戦争放棄」条項は日本国憲法第9条だけのものではなく、未来の世界のあるべき理想の姿で、さらに世界に拡大するのは当然のことです。

① 9条を自国憲法にという首相も

○2007年3月6日、来日中のモラレス・ポリビア大統領は、安倍晋三（当時）首相と会談し、「現在進めている憲法改正で戦争放棄を盛り込みたい」と話すが安倍首相は返答せずに終わる。

○また6年前、マレーシアの当時のマハティール首相は親日家として知られていましたが、2018年8月7日日本訪問の際に「日本は自衛以外の戦争を拒否している。マレーシア憲法に日本の憲法9条の平和条項を盛り込みたい」と、福岡市での記者会見で話していました。憲法9条への熱い思いが感じられます。



② 大西洋の島に「9条の碑」



○大西洋上のモロッコ沖、スペインのカナリア島のテルデ市には、スペイン語の「9条の碑」(写真)が建てられています。

○1990年頃、テルデ市長さんが日本国憲法9条に感動し1996年に「広島・長崎広場」をつくり、そこに「9条の碑」を建て、世界に「9条」は拡大しています。



③ 世界の国々の「戦争放棄・平和条項」

○「平和条項」は日本の9条だけの特異なものではなく世界の憲法で次の様な規定があります。前田 朗『軍隊のない国家』日本評論社より▶

- ① 平和の重視や平和政策の推進(インド、パキスタンなど48カ国)
- ② 国際協調や国連憲章の遵守(レバノン、バングラデシュなど75カ国)
- ③ 内政不干涉(ポルトガル、ドミニカなど22カ国)
- ④ 非同盟政策(アンゴラなど10カ国)
- ⑤ 中立または永世中立(オーストリアなど6カ国)
- ⑥ 軍縮の志向(バングラデシュなど4カ国)
- ⑦ 平和的国際組織への参加(ノルウェーなど18カ国)
- ⑧ 国際紛争の平和的解決(カタールなど29カ国)
- ⑨ 侵略戦争の否認(ドイツ、フランスなど13カ国)
- ⑩ テロ行為の排除(チリ、ブラジルの2カ国)
- ⑪ 国際紛争を解決する手段としての戦争放棄(日本、イタリアなど5カ国)
- ⑫ 国家政策を遂行する手段としての戦争放棄(フィリピン1カ国)
- ⑬ 外国軍隊の通過禁止・外国軍事基地の非設置(ベルギー、マルタなど13カ国)
- ⑭ 核兵器の禁止(パラオ、フィリピンなど11カ国)
- ⑮ 軍隊の非設置(コスタリカ、パナマの2カ国)
- ⑯ 軍隊の行動の規制(アメリカ、メキシコなど30カ国)
- ⑰ 戦争の扇動の禁止(ドイツなど12カ国)

④ 世界の196カ国中、軍隊を持たない国は27カ国も

○世界の国は196(国連加盟国は193)ですが、1928年パリ不戦条約の「国際紛争解決のための戦争放棄、一切の武力使用禁止」、1945年国連憲章第2条4項の「武力による威嚇又は武力の行使の禁止」、さらに1947年日本国憲法第9条の「戦争の放棄」は、世界の国々に大きな影響を与え、<下の地図>のように「軍隊を持たない国」27カ国を実現させています。「戦争放棄」が世界中に拡大していることの表れです。



⑤ 日本は平和の外交力を高め、9条を世界に拡大したい

「国家は軍隊を持つのが当たり前」とか「軍隊がなければ国家とは言えない」は誤りです。軍隊がなくても国家は維持・存続できる。問題は平和外交を駆使して安全保障を確立することです。世界に9条を広げて、軍隊のない国家に変える努力をするべきです。」(前田 朗)
 ○憲法9条の平和の理念を、覇権主義の国々へ拡大することも一層重要になってきます。